

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校千葉県自動車大学校
設置者名	千葉県自動車整備商工組合

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
自動車整備整備専門課程	一級自動車研究科	夜・通信	414 時間	320 時間	
	二級自動車整備科	夜・通信	423 時間	160 時間	
	一級自動車研究科新カリキュラム	夜・通信	414 時間	320 時間	
	二級自動車整備科新カリキュラム	夜・通信	467 時間	160 時間	
(備考) 新カリキュラムは令和7年度入学生から適応					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載し公表	https://cats.ac.jp/data
--------------	---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校千葉県自動車大学校
設置者名	千葉県自動車整備商工組合

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	実践かつ専門的な職業教育を実施するため業界における人事の専門性の動向、国又は地域産業振興の方向性、実務に必要な最新の知識、技術、技能、その他、教育課程の編成に関連する事項を審議する。 編成委員会の審議意見は授業科目の開設、その他授業内容や方法の改善を含む教育課程の編成に活用する。 構成委員には業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員、及び、専門分野に関する学会や学術機関の有識者から最低1名以上 また、実務に関する知識、技術、技能についての知見を有する企業や関係団体から1名以上を委員とし任期は2年で行う。（再任を認める）

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般社団法人 理事	令和6年 6月1日 ～ 令和8年 5月31日	※業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員委員は千葉県内の自動車整備関連会社に対して指導・協力する一般社団法人千葉県自動車整備振興会の理事で、自動車整備業界全体の動向や人材育成、また、千葉県の自動車整備産業振興に関する知見を有している。
一般社団法人 事務局長	令和7年 6月1日 ～ 令和9年 5月31日	※業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員委員は千葉県内の自動車整備関連会社に対して指導・協力する一般社団法人千葉県自動車整備振興会の事務局長で、自動車整備業界全体の動向や人材育成、また、千葉県の自動車整備産業振興に関する知見を有している。

株式会社執行役員	令和6年 6月1日 ～ 令和8年 5月31日	※専門分野に関する学会や学術機関の有識者 委員は、大型車について整備に関する知識、技術が高く、人材育成についての経験も豊富である。また、本校の卒業生の就職受入先であり、本校の学生に対する評価を行う事ができるため、今後の教育課程の編成に役立てる事ができる。一級自動車研究科のインターンシップ受け入れ先でもある。
有限会社取締役社長	令和7年 5月28日 ～ 令和9年 5月27日	※専門分野に関する学会や学術機関の有識者 委員は地元で自動車整備専門工場を営み自動車整備全般に関する知識、技術が高く、人材育成についての経験も豊富である。また、本校の卒業生の就職受入先であり、本校の学生に対する評価を行う事ができるため、今後の教育課程の編成に役立てる事ができる。一級自動車研究科のインターンシップ受け入れ先でもある。
株式会社サービス部長	令和6年 7月6日 ～ 令和8年 7月5日	※専門分野に関する学会や学術機関の有識者 委員は、乗用車、軽自動車整備に関する知識、技術が高く、人材育成についての経験も豊富である。また、本校の卒業生の就職受入先であり、本校の学生に対する評価を行う事ができるため、今後の教育課程の編成に役立てる事ができる。一級自動車研究科のインターンシップ受け入れ先でもある。
株式会社営業本部営業部長	令和7年 9月12日 ～ 令和9年 9月11日	※専門分野に関する学会や学術機関の有識者 委員は、自動車業界の流通、販売に対する知識や人材育成についての経験も豊富である。また、本校の卒業生の就職受入先であり、本校の学生に対する評価を行う事ができるため、今後の教育課程の編成に役立てる事ができる。
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校千葉県自動車大学校
設置者名	千葉県自動車整備商工組合

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画は本校の教育目的を達成するため、文部科学省専修学校の設置基準、及び国土交通省一種養成施設指定基準に準じた内容で作成した科目別到達目標等を元に、主授業担当者が、担当教員、到達目標、授業の時間、授業回数、授業内容、使用する教科書、教材及び履修条件、成績評価の方法を明記した内容で作成する。 作成した授業計画は学年主任及び教育課長により内容の確認を行い、3月31日までに教育部長の最終確認（実施許可）を受け授業を行う。 また、確認を受けた授業計画の公表は実施年度4月に本校のホームページに掲載し公表する。	
授業計画書の公表方法	ホームページに掲載し公表 https://cats.ac.jp/data
2. 学修意欲の把握、試験やレポート出席率などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目について平常評価（出席率、提出物等）、平常試験（修了試験等）、学期末試験（前期末試験または後期末試験）を実施し、それに基づき評価を行う。 試験の結果は可（60％）以上を合格とする。また、出席率は90％以上でなければ学期末試験を受験することができない。 なお、出席が90％未満のものには補習を行い、試験成績が60％未満のもの、及び受験しなかったものには、それぞれ再試験及び追試験を実施する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 各科目について学期末試験（前期末試験及び後期末試験）における学科科目及び実習科目の履修範囲について評価を行う。 評価基準は概ね、100～90点：優（3ポイント）、89～70点：良（2ポイント）、69～60点：可（1ポイント）、59点以下：不可（0ポイント）とし各教科で取得したポイントを合計した値で評価する。 年間の評価方法は、年間ポイント（前期ポイントと後期ポイントを合計した値）で評価する。さらに、年間ポイントよりA～Eの段階に分ける。 段階の決定は次の式により指標数値を算出し、その数値が100～87はA段階、86～73はB段階、72～59はC段階、58～45はD段階、44以下はE段階とする、ただし不可の教科が有る場合は点数に関わらずE段階とする。 $\text{指標数値} = \text{年間ポイント} \div \text{実施科目数} \times \frac{3}{100}$ ※指標数値小数点以下は切り捨てる	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページに掲載し公表 https://cats.ac.jp/data
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業者には整備士としての人格と、技能を修得しており、お客様に信頼と満足を提供できる人材であることが望まれる。客観的な卒業基準としては学則と細則により卒業試験の学科及び実技試験の全教科において可以上の成績を修めたものに対して学校長が卒業を認める。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページに掲載し公表 https://cats.ac.jp/data

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校千葉県自動車大学校
設置者名	千葉県自動車整備商工組合

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに掲載 https://cats.ac.jp/data
収支計算書又は損益計算書	ホームページに掲載 https://cats.ac.jp/data
財産目録	ホームページに掲載 https://cats.ac.jp/data
事業報告書	ホームページに掲載 https://cats.ac.jp/data
監事による監査報告（書）	ホームページに掲載 https://cats.ac.jp/data

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		自動車整備専門課程	一級自動車研究科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	新カリキュラム（令和 7年度入学生から適用） 4， 1 5 9 単位時間	1, 143 単位時間	0 単位時間	3, 016 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4， 1 5 9 単位時間				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	旧カリキュラム 4， 3 1 5 単位時間	1, 216 単位時間	0 単位時間	3, 099 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4， 3 1 5 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
9 0 人		6 2 人	1 人	8 人	1 人		9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は本校科目別到達目標を元に授業計画を作成し実施する。また、各科目において平常評価（出席率、提出物等）、平常試験（修了試験等）、学期末試験（前期末試験または後期末試験）を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について平常評価（出席率、提出物等）、平常試験（修了試験等）、学期末試験（前期末試験または後期末試験）を実施し学期末試験を行う。 なお、試験の結果は可以上の成績を収めなければならない。また、出席率は90%以上で無ければ学期末試験を受験することができない。

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業者は整備士としての人格と、技能を修得しており、お客様に信頼と満足を提供できる人材であることが望まれる。客観的な卒業基準としては学則と細則により卒業試験の学科及び実技試験において可以上の成績を修めなければならない。
学修支援等
（概要） 特待生度を設け成績優秀等の基準に達するものは授業料の減免を行う。日本学生支援機構、教育訓練給付金制度に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 国の認証を受けた自動車ディーラー工場、保険業			
（就職指導内容） 働き方の意識付け導入。求人票の見方。当校独自で同企業説明会の開催、就職試験（面接含む）の対策を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一級自動車整備士（総合）国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	1人	1.59%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学時及び定期的な面接による兆候の早期発見。相談者のカウンセリング、保護者を交えた面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		自動車整備専門課程	二級自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	新カリキュラム（令和 7年度入学生から適用） 1, 9 7 3 単位時間	693 単位時間	0 単位時間	1,280 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 9 7 3 単位時間				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	旧カリキュラム 2, 1 3 0 単位時間	766 単位時間	0 単位時間	1,364 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2, 1 3 0 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 0 0 人		7 1 人	3 7 人	4 人	0 人	4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は本校科目別到達目標を元に授業計画を作成し実施する。また、各科目において平常評価（出席率、提出物等）、平常試験（修了試験等）、学期末試験（前期末試験または後期末試験）を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目について平常評価（出席率、提出物等）、平常試験（修了試験等）、学期末試験（前期末試験または後期末試験）を実施し学期末試験を行う。 なお、試験の結果は可以上の成績を収めなければならない。また、出席率は90%以上で無ければ学期末試験を受験することができない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業生には整備士としての人格と、技能を修得しており、お客様に信頼と満足を提供できる人材であることが望まれる。客観的な卒業基準としては学則と細則により卒業試験の学科及び実技試験において可以上の成績を修めなければならない。
学修支援等
（概要） 特待生度を設け成績優秀等の基準に達するものは授業料の減免を行う。日本学生支援機構、教育訓練給付金制度に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0.0%)	16人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 国の認証を受けた自動車専業整備工場、自動車ディーラー工場など			
（就職指導内容） 働き方の意識付け導入。求人票の見方。当校独自で企業説明会の開催、就職試験（面接含む）の対策を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	4人	7.55%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学時及び定期的な面接による兆候の早期発見。相談者のカウンセリング、保護者を交えた面談の実施		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
一級自動車研究科	300,000円	485,000円	495,000円	施設費 220,000円 実験実習費 275,000円
二級自動車整備科	300,000円	485,000円	495,000円	施設費 220,000円 実験実習費 275,000円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cats.ac.jp/data		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校実践的かつ専門的な職業教育を実施するために「自己評価点検」を基に保護者、OB、業界関係者（団体）、その他人材育成等に関わる方々（学校関係者評価委員）により評価を実施し、改善案を検討し次年度に反映する。また、結果をホームページで公表する事により、保護者や地域の方々などに学校に対する理解を深めていただけるよう勤める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元県立高等学校校長	令和7年7月1日～ 令和9年6月30日	教育有識者
有限会社代表取締役	令和7年7月1日～ 令和9年6月30日	就職先企業
元自動車整備専門学校校長	令和7年7月1日～ 令和9年6月30日	卒業生、教育有識者
一般社団法人千葉県自動車整備振興会専務理事	令和7年6月1日～ 令和9年5月31日	整備業界団体
卒業生保護者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	保護者
卒業生保護者	令和7年9月15日～ 令和9年9月14日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cats.ac.jp/data		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

1. (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
2. https://cats.ac.jp/data